



私たちのことを、私たち抜きで
決めないで欲しいのです。

Spring とは？

一般社団法人Springは、性被害に遭っても
生きる希望を持てる社会を作るために活動しています。
性被害を受けた人がフリーズ（凍りつき）から動き始め、
人生の冬を過ごしているすべての人の心に春がくるよう
願いを込めて、2017年7月7日に設立しました。

ロビイング とは？

市民の声を政治の場に届け、
政策決定に影響を与える活動です。
対象は議員(国会/地方)、関係省庁、
官僚、法案決定に関わる人全てです。

Springは性暴力の実態に即した法律になることを目指して
「命を支えるルールづくり」をしています。

Mission

性被害当事者が
生きやすい社会へ

「性暴力とは何が侵害され、
被害後、個人や社会にとって長きに渡り
どのような影響を及ぼすのかー」

これらの現実を伝え、
性暴力の実態に即した
刑法性犯罪改正を
求めています。

Goals

- ①性被害を受けた人が、
被害者と認められる
- ②性被害を受けた人、周囲の人が、
適切な支援を受けられる
- ③性暴力の真実を伝え、
共に生きられる社会をつくる

Vision

性被害を経験した人生を、
刑法改正の社会資源にする

2020年を目処とする性暴力の被害実態に
即した刑法性犯罪見直しの実現

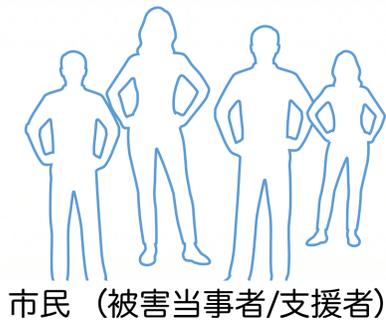
2017年6月、日本の刑法性犯罪が
110年ぶりに改正されました。
しかし、性暴力の実態に対して十分な
改正とは言えず、今も多くの課題が
残されています。

Activities

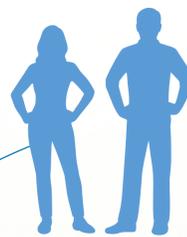
- ①刑法性犯罪規定見直しを促進する、
ロビイング活動
- ②市民の声を集める、
ソーシャルアクション
- ③性暴力被害当事者への、
エンパワメント
- ④被害実態を知るための、
調査研究

～ 私たちの活動を支えている皆さま ～

Springを支える在英日本人の会
海外在住者から情報提供



市民（被害当事者/支援者）



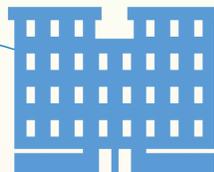
国会議員/地方議員



弁護士/ 評議員
被害者の心に寄り添う



報道・メディア関係者
性暴力問題へ関心が高い



関係省庁・行政



日本初！法人化された性暴力被害当事者によるロビイング団体

2017年夏、
刑法性犯罪規定、改正が実現！
今もなお、残された大きな課題とは・・・

例えばこんな問題が・・・

メルマガ「すぶだより」では、
これらの問題について
やさしく丁寧に解説しています！



◆ 公訴時効が、被害実態に見合っていない
強姦性交等罪=10年、強制わいせつ罪=7年 を過ぎたら刑法では罪にならない

◆ 暴行脅迫要件の、立証ハードルの高さ
被害者が「暴行や脅迫によって抵抗できなかった」と認められなければ、加害者は無罪になる

◆ 性交同意年齢が、低すぎる
被害者が13歳以上の場合は、暴行脅迫要件を満たすことが必要となる
*親などの監護者から18歳未満の子への性交・わいせつのみ暴行脅迫要件は不要

◆ 地位・関係性に乘じた場合の、立証の難しさ
自分より地位が高い人からの被害は訴えにくく、犯罪と認められにくい

メディア掲載多数！

ファッション誌から新聞まで。
ブログで掲載報告をしています♪



Spring 設立からの歩み

アドボカシー活動は、タスキを繋ぐマラソンだ！



<p>①ロビイング活動 —省庁への働きかけ—</p>	<p>法律改正に向けて議員・関係省庁へ、国会会期中は月に2回以上ロビイングを実施。その他、各党/省庁/自治体が実施するヒアリングへ参加</p> <p><2018年12月 臨時国会までの成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月設立~2018年7月（国会閉会中、第196回通常国会の合計）の間、延べ60名以上の国会議員と面談が実現。性犯罪規定に関する国会質問が複数回実施された ・2017年12月自民党議員連盟発足、提案要望書を提出。以降定期的に総会を開催 ・2017年12月立憲民主党ヒアリング、2018年4月自民党司法制度調査会、2018年5月公明党法務部会ヒアリングへ参加、延べ200人に性被害当事者の声を届けた ・2018年7月、警察庁ヒアリング「警察における性犯罪被害者の心情に配慮した対応のあり方について」へ参加 <p><市民団体との連携実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民12団体でなる「刑法性犯罪改正市民プロジェクト」の1団体として延べ300人と意見交換。自民党12議員連盟が決議した被害者支援への取り組みに関する提案を2018年7月上川陽子法務大臣・野田聖子総務大臣へ提出する際同行 <p><調査研究要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年11月内閣府男女共同参画局に量的調査への要望書を提出 ・2018年3月法務省「犯罪被害実態（暗数）調査」に関する意見交換会に参加
<p>②ソーシャルアクション —市民への啓発—</p>	<p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑法性犯罪改正の必要性を周知させるため、メルマガやSNSによる情報発信を実施 <p><イベント開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑法性犯罪改正の必要性を周知させるため、イベント、勉強会、キャンペーンを開催 ・刑法性犯罪改正を前進させるためのイベントの実施、当事者一人一人の声を集め政治に届ける「OneVoiceキャンペーン」を展開中！
<p>③トレーニング —当事者エンパワメント—</p>	<p>2017年10月~2018年5月まで「セルフナラティブトレーニング事業」を、3回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メディアトレーニング事業」を1回開催 述べ40人が参加
<p>④質的調査研究 —被害実態を知る—</p>	<p>外部研究者らと連携し「性暴力が発生する心理的・社会的要因の検討」や、「性暴力が当事者の人生にどのような影響を及ぼしているか」などの質的調査研究を実施。調査結果をロビイング活動における論的根拠とすることで、刑法性犯罪改正を後押しする</p>
<p>⑤その他 —海外との連携—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・WAW2017(国際女性会議)にブース出展。刑法性犯罪改正の成果と日本の性暴力を取り巻く現状を海外へ向けて発信 ・被害者支援先進国への視察(2018年7月イギリス)や、国内被害者支援施設への視察を実施。海外の実例から学んだことを日本社会の未来のために還元していく（視察報告イベントを2018年10月に開催）

私たちの想い

自分の意思に反して性的なことをされるのが、性暴力、です。

見知らぬ人から触られたり、襲われたら性暴力です。

夫、妻、彼氏、彼女、親、兄弟、友人、先生、指導者、上司、先輩に無理やり触られたり、性行為させられたら性暴力です。

もし、あなたが性的なことで傷ついていたら、それは性暴力。あなたは悪くない。

もし、あなたの大事な人が、傷ついていたら、それは性暴力。その人は悪くない。

もし、周りに誰もそんな人がいなかったら、「あなたが悪い」「汚れた」と言われると沈黙している人がすぐ横にいることにおもいを馳せて。

責任は加害者にあります。

だけれど性暴力に無自覚な人、人を支配して自分の力を感じたい人を生み出す社会を作っているのは私たちです。

私たちはそんな現状を変えたい、性暴力に立ち向かう人です。

私たちは被害者、サバイバー、また大事な人を守りたい人です。

声を上げるのは怖いことです。

まず、自分や大事な人の被害を受け入れ、人生を歩まなければなりません。

そして声を上げられるほどに傷つきから回復しなければなりません。

そのプロセスは10年、20年、何10年とかかります。

私たちは声を上げたいと思った性暴力被害者、サバイバーが声を上げられる場が必要だと思い、この組織を立ち上げました。

声を上げることで、社会や政治は確実に変わっていきます。

私たちは110年ぶりの刑法性犯罪改正に際し声を上げ、高くて遠いと思っていた政治の壁が、実は人の温かい気持ちで作られているところがあることを知りました。

あなたが声を上げたい、と思ったら、私たちにいつでも加わって下さい。

私たちはいつもここにいます。

2017年7月7日

一般社団法人Spring発起人一同



支援のお願い

～あなたのご支援が
私たちの力になります～

3.7%

毎日、全国のどこかで起きている「魂の殺人」。

しかし、性暴力被害という特性から実際には「異性から無理矢理に性交された経験」のある人の中で警察に連絡・相談した人は3.7%しかいません。（平成29年内閣府男女共同参画局調査）

届けることが難しいという現状を当事者自身が伝え、もし被害にあってもあなたの大切な人が希望を見いだせる社会になるよう、私たちは活動をしてまいります。

皆さまより頂いたご寄付で、これらの活動に発生する交通費や当事者の声を集めた冊子制作費、イベント会場費等の全てをまかっています。今、この時、皆さまの助けが必要です。ご支援をよろしくお願いいたします。

【毎月のご支援が当事者の声を届ける活動を支えています】

1,000円会員を 1年間継続すると

被害当事者の声を集めた冊子を500部作成することができ、一人でも多くの人に当事者の声を届けることができます。



3,000円会員を 1年間継続すると

5人のSpringスタッフが3回ロビイングへ行くことで、国会議員や関係省庁へ被害者の声を要望書等にして届けることができます。



5,000円会員を 1年間継続すると

活動を地方へ広げる全国キャンペーンイベントが一回開催でき、市民や地方議員へ当事者の声を直接届けることができます。



詳しい会員制度についてはこちらから
<https://goo.gl/jMdweV>

会員費・ご寄付の振込先

* 会員費・単発寄付のどちらも「ゆうちょ振込」がご利用いただけます。また、クレジットカード決済もご利用いただけます *

ゆうちょ振込

【口座記号】 00260-3 【口座番号】 138876
【口座名】 一般社団法人Spring

* 通信欄に、お名前、ご連絡先（ご住所、お電話番号、メールアドレス）をご記入ください（メルマガをお送りします）

会員費 クレジットカード決済

<https://pne.club/spring>



単発寄付 クレジットカード決済

<https://syncable.biz/associate/spring0707/donate/>



代表理事：山本 潤

被害者だから感じられること、考えていること、被害経験があるから見える世界、それを伝えることで多くの人が性暴力の問題を理解し、何かを感じ、動いてくれると実感しています。性暴力を受けた人が、自分の被害を知られたら地域で生きていけないと脅えるのではなく、「あなたの話を信じるよ」「あなたのせいじゃないよ」と伝えられ、被害者をあたたかく力強く支えることができる社会を作るのが、私たちの希望です。

メルマガ「すぷだより」を
読んで応援する！



<https://goo.gl/inVkfX>

* 第2、4火曜日の月2回、
刑法の「いろは」やロビイングミニ知識、
スタッフの思いをあなたにお届けします♪

Blogを読んで応援する！



<https://ameblo.jp/spring-voice-org/>

* ロビイング活動報告を始め、
アドボカシー団体の奮闘記を更新中
(HP制作中)

SNSをフォロー&情報拡散して応援する！



@harukoi2020



@Spring20170707

* 刑法を100回程咀嚼したやさしい内容も、
発信しています！
気軽にフォローしてください♪



一般社団法人Spring

お問い合わせ先: info@spring-voice.org

Web: <https://ameblo.jp/spring-voice-org/>

〒103-0014 東京都中央区日本橋蠣殻町一丁目21番6号 南雲ビル